

高師の紹介をしましょ

高師小は、豊橋市の真ん中辺りに位置し、梅田川の中流から下流にさしかかる地域にあります。

この辺りは、高師原台地と呼ばれ、北は柳生川から、南は梅田川までの台地であり、洪積世に堆積した洪積台地です。

地層の表層は、赤褐色土で、この土の中から、有名な「高師小僧」が産出されます。高師台中学校には、敷地内に「高師小僧」の保護地（県天然記念物）があり、また、サイエンスコアの近くの空き地では、今でも採集することができます。

また、市民の憩いの場として知られる、高師緑地公園もこの地域にあります。休日など

は、多くの家族連れの姿を見ることができます。また、冬には近くの小学校のマラソン大会のコースとしても利用されています。

高師小学校の西門を出た所に、円通寺というお寺があり、その敷地内に「義人庄屋源吉」の碑が建っています。江戸時代に、凶作に苦しむこの地方の農民たちの年貢を軽減するため自分の命をかけて、農民のために働いた庄屋源吉の徳を偲んで建てられたものです。このことについての詳しい話は、高師小学校で作成した「ウォッチング高師」に書いてあります。



(校区を流れる梅田川)



(高師小僧)



(庄屋源吉の碑・円通寺)

(高師小 中神 雄)